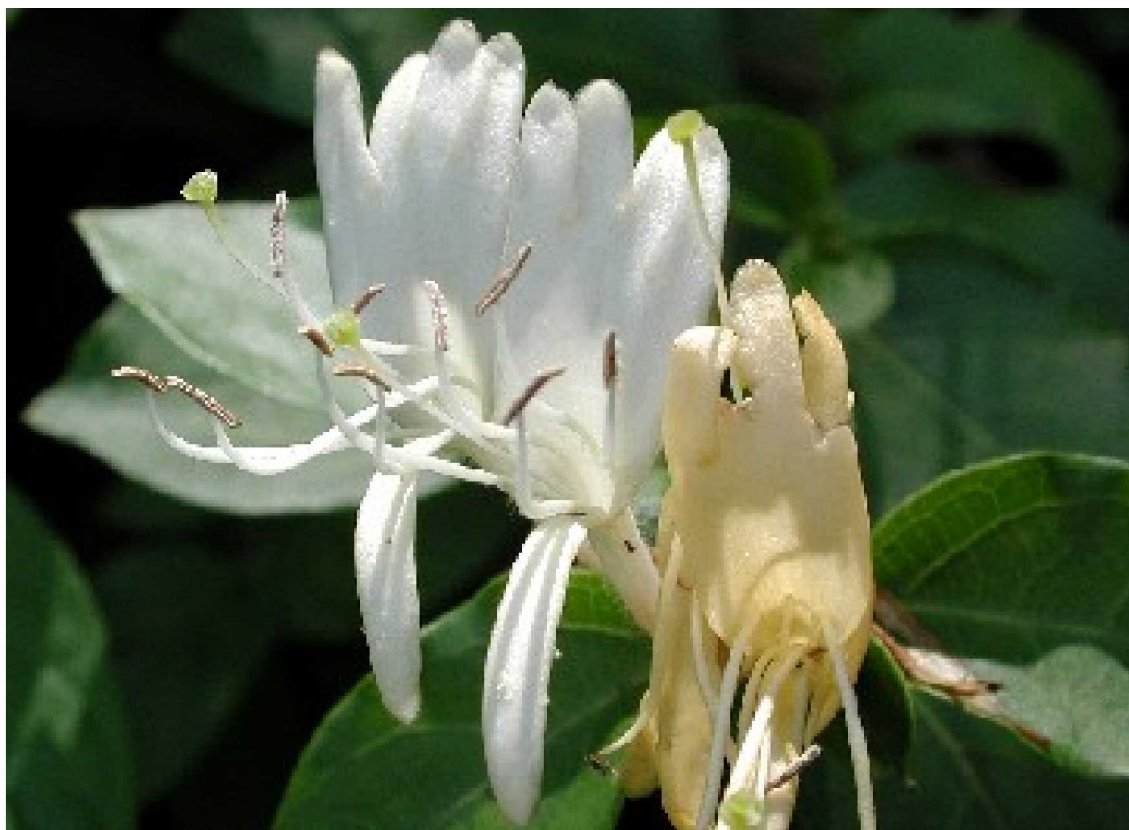


「今週の1枚」



スイカズラ

構内の生垣に咲くスイカズラの花も終わりの季節になりました。始めは白い色、古くなると黄色になります。写真のように白と黄色の花が混じって見えるので「金銀花」の名もあります。花をつまんで筒の根元の方をチュッと吸うと甘い蜜がでてきます。蜜を吸っている唇の形と花の形が良く似ているので「吸いカズラ」と呼ばれるようになりました。

スイカズラは木本のつる植物ですから他の樹木の上にはびこるとやっかいです。写真を撮った場所も生垣の剪定で刈り込まれてしまいました。しかし、春になるとまた伸びてくるでしょう。冬になっても半分くらいの葉は落葉せずに冬を越します。その様子から「忍冬（にんどう）」という名がついて、季語ではこちらの方をよく使います。（埴田）

（No. 2 2001. 6. 8 掲載）